KILLER WHALE TIMES

H26 年度東日本新人戦号

先月 10 月 25 日(土)、26 日(日)に戸田ボートコースで行われた東日本新人戦に一年生２人と二年生１人が出漕してきました。当初、男子はフォアでの出漕予定でしたが、怪我人が出たため森(2)と江口(1)がダブルを組み、オープン参加という形で出漕しました。１年生は戸田での練習・レースは初めてでしたが、それぞれ良い経験になったことと思います。また、岡原(1)はほぼ初の一人エッセンでしたが１週間卒なくこなしてくれたようです。
これからシーズンオフに入り、冬練の時期がやってきます。漕手の人数も減ってきてしまいましたが来シーズンへの飛躍に向けて大きな怪我なく無事終われると良いです。漕手、バックともに上級生がしっかり１年生をサポートしていかなければならないですね。
来月１２月７日にはマシンレガッタが行われます。是非応援にいらしてください！

♡女子シングル♡

予選

レーン	クルー	1,000m	順位
1	阿達あゆみ(小樽商科大学)	4'35″58	3
2	横山実祐(墨田川高校)	4'22″35	1
3	加藤真由(共立女子大学)	4'36″53	4
4	山口ゆり(学習院大学)	5'10″76	5
5	鈴木悠以(東京外国語大学)	4'33″71	2

順位決定B

レーン	クルー	1,000m	順位
1	小野夏子(東京外国語大学E)	4'46″98	6
2	加藤真由(共立女子大学)	4'27″55	2
3	鈴木悠以(東京外国語大学B)	4'28″26	3
4	阿達あゆみ(小樽商科大学)	4'38″05	5
5	久保田衿(東京外国語大学A)	4'26″93	1
6	藤田彩果(東京医科歯科大学B)	4'37″66	4

AYUMI Adachi

REIRA Okahara

－－－

☆監督兼ヘッドコーチ報告☆

☆代交代～東日本新人戦まで(H26.9 月～H26.10 月)　　監督兼ヘッドコーチ　谷津法彦(平成５年卒)

　インカレ終了後、新主将の安生(あそ)のもと、商大ボート部が新体制で動き出した。９月から 10 月にかけては主に 1,2 年生のレースが続く。
9/14：茨戸新人大会
9/20,21：北海道選手権
10/25,26 東日本新人戦
例年だと全日本新人選手権(10/3～5)に出漕するのだが、ちょうどその時期どうしても受けなければならない講義のガイダンスとやらがあるとのことで、出漕を断念。代わりに東日本新人戦を選んだ。
ここで新体制の内容に触れておく。
３年目漕手は安生と高木、２年目は森、１年目は男子が大塚、江口、田中、女子が安達。つまり全学年合わせても男子６名・女子１名となる。
新人戦に向けて男子クルーは故障に泣かされた。当初の予定では漕手が 1,2 年目でちょうど４人ということもあり、コックスに主務の山崎(2)を乗せて付きフォアでの出漕と決めた。しかし艇のトラブルがあって茨戸新人はシングルスカル、その翌週の北海道選手権は故障者の影響でトレーナーの鈴木がピンチヒッターで漕ぐという状態。結局故障の深刻さも考慮して 10 月下旬の東日本新人はフォアを解体、ダブルとシングルに分けることになった。しかもこの時点でエントリーは締め切られていたので、オープン参加と言う苦肉の策であった（ただし事情によりシングルの出漕も見送られ、結局森と江口のダブルのみとなる)。レースの詳細は本人達の報告に譲るが、２年目の森は腰痛を抱えて昨年の新人戦は不参加、今年も対校のセレクションに絡む事が出来なかったこともあって、新人戦にかける思いは強かったと思う。応援団副団長という激務との掛け持ちの中でも気持ちを切らさないところは大変頼もしいが、今回のレースを糧にどこまで実力を伸ばせたか、今後に期待である。１年目の江口と大塚は性格も漕ぎ方も全く違うタイプだが、それぞれにポテンシャルの高さを見せてくれた。大塚は持ち前のレンジの大きさを活かして茨戸新人大会 2 位の表彰台に上ったのはいい意味で驚いた。江口もどちらかと言うと小柄ではあるが思いきりの良さと常にテーマを持って練習に臨む姿勢がいい。女子シングルの安達も腰などに不安が全くない訳ではないが、女子一人でのシングル練習を前向きにこなしていってくれた。一度の乗艇で色んな感覚を掴んでくるし、それを表現したりこちらの言う事を感覚へと解釈し直す能力も高いと思う。フィジカル面の強化はまだこれからだが、楽しんで取り組む姿勢は忘れないで欲しい。
　この文章を書いている時点ではメインレースの無い 3 年目を中心に、来期の方針、目標などについて話し合ってもらっている。自分はその材料となるようなレクチャー(10/15 の夜に艇庫で運動生理学の基礎について一回目のレクチャーを行った)の準備とミーティング(10/13 には手始めに１年目漕手と女子マネ岡原と個人面談を行った)を進めていくことになっている。
　冬からのトレーニングに関しては、自分でまず叩き台になるものを提示して皆の意見を取り入れながら組み立てていく。そしてチームの目標と平行して各自の課題や目標も明確にさせていく。ここ数年選手の自主性に任せ過ぎてチームとして一貫した取り組みが甘かったり、長期的な目標を意識していない行き当たりばったりな練習が見られた。いざ夏場になってレースの練習が始まったら戦える体が出来ていない、故障者が出てくるという問題が露呈するのはやはりどこかに原因があるのである。故障をいかにして減らすかと同時にインカレ、対北大戦に向けてどのくらいのレベルのトレーニングを積まなければならないのかを常に意識させていきたい。
人数が少ない上に故障予備軍が出ている点は心配ではあるが、2007 年の男子ダブル、2013 年の女子ダブルにしても、もっと少ない漕手しかいない状況での準決勝進出であったことを考えれば、やはりやるべき事をしっかりやっていれば関係ないのである。この状況をハンデではなくチャンスに変えてやるんだという心の有り様を現役部員には持ってもらいたいと思う。

○差し入れのお礼○

　茨戸に足を運んでいただいた際に OBOG の皆様に差し入れを戴きました。
また、部員のご家族の皆様からも差し入れを戴きました。誠にありがとうございました。この場をお借りして部員一同よりお礼申し上げます。

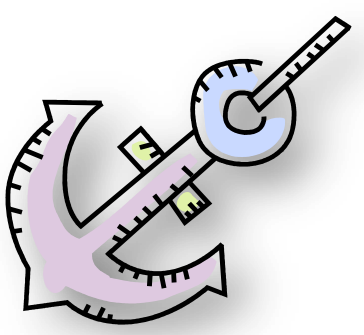
・外崎様：　スポーツドリンク
・米田様(H23 年卒)：　果物
・海鉾様(H26 年卒)：　野菜、お菓子
・成蹊大学様：　お菓子
・森ご家族様：　野菜
・岡原ご家族様：　お菓子、ジュース
・阿達ご家族様：　お菓子、スポーツドリンク
・上杉昂也(4 年目)：　お菓子、スポーツドリンク

==========

＊後援会について＊

後援会費について
後援会費は、原則として１年で¥10,000 の定額です。¥10,000 以上の金額をいただいた場合も、後援会費としてお預かり致します。後援会費はほぼ全額が現役部員の活動援助金として充てられますので、できる限り多くの皆様のご協力をお願い致します。（尚、後援会会則に則り、満年齢 65 歳以上の会員の方・既婚女性の会員の方は原則後援会費は免除扱いとなっています。）
後援会費は、**日本信販の自動引落サービス**をご利用できます。できる限り多数の OB の方々がご加入下さいますようお願い致します。ご加入方法及び引き落とし口座の変更につきましては、現役会計(瀬尾玲美)か担当の平成 10 年卒 佐藤公洋までお問い合わせください。

連絡先：会計　2 年目　森(もり)　弘樹(ひろき)

✿個人情報保護の取り組み✿
後援会会員の方々には、小樽商科大学漕艇部の活動に必要な情報として、お名前・連絡先・勤務先などの個人情報をご提供いただいております。小樽商科大学漕艇部では、ご提供いただきました個人情報につきましては以下のように取り扱います。
・会員の方々の個人情報の利用については、小樽商科大学漕艇部の活動(後援会誌『しゃち』や『Killer Whale Times』の発送など)の範囲内での利用に限定します。
・ご自身に関する情報の訂正・削除などのご依頼があった場合は、特別の理由　がない限り対応をいたします。
・会員の方々の情報保護が確実に実施されるための継続的な改善を行い、適切　に管理いたします。
ご意見やご提案等がございましたらお問い合わせください。今後ともよろしくお願いいたします。

連絡先：主将　3 年目　安生(あそ)　周悦(しゅうえつ)
TEL：080-3335-4798
Mail: rowing1937@yahoo.co.jp